

ふえぬ風

発行 〒901-1105
 沖縄県南部農業改良普及センター
 TEL:(098)-889-3515
 FAX:(098)-835-6010

沖縄県では、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」、「沖縄21世紀農林水産業振興計画」等に基づき、生産基盤の整備をはじめ、農業施設・機械の導入、流通体制の整備などの各種施策を選択的かつ集中的に実施してきたところ、平成28年の農業産出額が21年ぶりに1,000億円台を突破しております。



南部農業改良普及センター管内では、各種施策と普及事業の展開により、野菜、熱帯果樹、さとうきび、養豚、鶏、乳用牛、肉用牛、花き、かんしょ等の生産振興が図られ、これら農畜産物を柱に拠点産地の形成やブランド化など、地域特性を活かした多様な農業生産が行われ、地域の経済・社会の発展に貢献しているところです。

さらなる農業の振興・発展を図るためには、新規就農者等担い手の育成・確保、産地力の強化、農家所得の向上に向けた取り組みが重要となっております。

このため、令和元年度は、下記の4つの活動方針を柱に、直接農業者に接して、技術・経営支援などを行う「農業改良普及事業」を重点的に展開してまいります。

1. 安定的な農業の担い手育成

新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士等組織活動の充実強化、就農女性の経営参画促進などの取り組みを支援します。

2. おきなわブランドの確立に向けた産地育成

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産供給体制の強化などの取り組みを支援します。

3. 環境と調和した農業生産活動

エコファーマー等の育成、施肥の適正化、農薬の適正使用、食の安全・安心の確保、農業生産工程管理（GAP）の実践などの取り組みを支援します。

4. 地域資源活用による農村振興

地産地消の推進、女性起業者等の支援、地域特産物の活用、島ヤサイの産地育成、地域農業の活性化などの取り組みを支援します。

これら方針の推進にあたっては、生産農家をはじめ、市町村、JAなどの関係機関・団体と密接に連携し取り組む所存でありますので、関係者の皆様には今後とも普及事業へのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和元年度 南部農業改良普及センター活動体制

普及企画班
 班長 下城 崇生
 主幹 神山 桂子

地域調整・・・下城 崇生
 地域営農・・・長浜 隆市
 担い手・・・神山 桂子 玉城 亜矢子 安仁屋 政竜
 農業経営・・・長山 麻江
 庶務・・・新垣 夏代 今井 和美

所長
 長元 司

地域特産振興班
 班長 宮城 聡

特産物・・・宮城 聡 伊良皆 ゆかり
 工芸作物・・・佐藤 恒啓 新里 良章
 作物・・・普天間 斎
 畜産・・・細井 伸浩 長谷 智宏 (屋嘉比仁美)

園芸技術普及班
 班長 屋宜 美智子

野菜・・・屋宜 美智子 新里 寿順 新崎 千江美
 根間 光里
 果樹・・・大石 彩子 中村 翼
 花き・・・中村 悟之 佐久本 盛壮

離島駐在

久米島町・・・粟 國 佳史
 南大東村・・・当 真 央
 北大東村・・・興 儀 允

() は臨任職員

果樹の暑さ対策

～いよいよ本格的な夏到来！ハウスの暑さ対策できていますか？～

梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏到来！気温の上昇とともにハウス内の温度も急上昇します。夏場の強い日差しや高温により、ハウス内の植物もいろいろな影響を受けます。対策をしっかり行い、ハウス内の樹や果実を暑さから守りましょう。

～暑さの影響は品目によってさまざま～

マンゴーでは、直射日光による葉焼け（写真1）や果実の日焼け（写真2）、ハウス内温度の上昇による果実の肥大不足（写真3）や果実内部の果肉崩壊（写真4）などが見られます。また、パッションフルーツでは果実の青落ち（写真5）、スターフルーツでは、特に暑さに耐性のない幼木の枯死（写真6）などの症状が見られます。



写真1 日焼け① (マンゴーの葉)



写真2 日焼け② (マンゴーの果実)



写真3 果実の肥大不足



写真4 果実の果肉崩壊 (マンゴー)

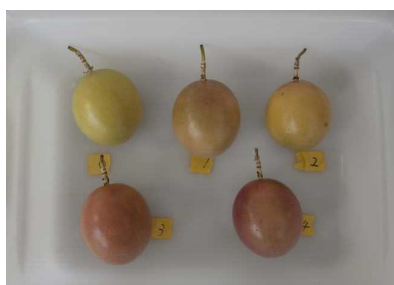


写真5 パッションフルーツ果実の青落ち



写真6 スターフルーツの枯れ (施設 50度越え!)

～対策～

1. 換気と灌水（写真7）・・・施設のネット目合いを粗くするのもおすすめ（目合2mm以上推奨）！
2. 遮光ネットの設置（写真8）・・・ハウス外側屋根面設置がおすすめ！
3. 袋かけ・傘かけ（マンゴー）（写真9）・・・袋の端をカットして通風を良好に！



写真7 側窓ネット (2×6mm)



写真8 遮光ネット



写真9 袋かけ

(園芸技術普及班 中村翼・大石彩子)

野菜の栽培終了後のハウス管理

～ハウスの蒸し込み～

栽培終了後に、すぐには場を開邦して片付け作業に入ると、ハウス内の害虫がハウス外である周辺の圃場や雑草地へ移動するため、周辺作物や次期作物へ影響します。

栽培終了後には、ハウスを蒸し込み、ハウス内の害虫を外に出さないようにしましょう。



- ① 株を引き抜く、または地際から切り取る
- ② 1～2週間ハウスを閉めきり作物を完全に枯らす。
 ※ハウス内が 50℃以上になると配管の塩ビパイプが変形するので、側窓を少し開ける。
 ※蒸し込む際、ハウス内に雑草があると、効果が低いため除草を行う

～太陽熱土壤消毒～

同じ作物を栽培することの多い圃場では、連作障害対策として太陽熱土壤消毒を行うことをおすすめします。

●●太陽熱土壤消毒の方法●●



- ① 前作の片付けをし、土壌を耕耘・碎土、堆肥(2～3t/10a)を投入する。米ぬか・石灰窒素を利用する場合は、このときに行う。
- ② 圃場全体にたっぷりかん水する(30～50t / 10a)
- ③ 透明ビニールで圃場全体を被覆し、約 30 日以上おく。

●●太陽熱土壤消毒を効果的に行うために●●

- ・土壤消毒期間は、日射量の多い7月(梅雨明け後)～9月の高温期に行いましょう。
- ・太陽熱土壤消毒の効果は表層から約30cm程度なので、消毒後は深く耕さないようにしましょう。
- ・水は、土壤深くに熱を伝える役割を担います。水をたっぷりまきましょう。

台風対策

～台風の時期が到来します！準備はできていますか？～

沖縄県は台風の常襲地域です。毎年平均7個の台風が襲来し、ハウスの倒壊や農産物の倒伏・落果・塩害など農家経営に大きな影響を与えています。昨年の台風24号では南城市糸数において最大瞬間風速56.2m/sを記録し、農産物に甚大な被害をもたらしました。台風被害の軽減には、以下に示すような、台風前後の対策が重要となります。

野菜（オクラ）



台風被害の様子



切り戻し対策ほ場

- ・収穫できるものは前もって収穫をしておく。
- ・冠水や浸水が予想されるほ場では排水対策を行う。
- ・草丈を40cm程度に切り戻す。切り戻し前に追肥し、側枝の発生を促す。
- ・草丈が小さい場合は、ハウズバンドで固定するか防風ネットで被覆する。
- ・台風通過後は、葉についた塩分を水で洗い流す。

果樹

（マンゴー、パッションフルーツ、スターフルーツ）



マンゴー対策事例



パッションフルーツ対策事例

- ・施設本体の強度の低下がないか、連結部分のチェックを行い、必要に応じて補修する。
- ・ハウスの倒壊の危険が少ない範囲で、防風ネット等による屋根面・側面・妻面・つり棚面等への2重被覆を行う。
- ・台風後は、病害の拡大を防止するため速やかに水で洗い流した後、殺菌剤を散布する。
- ・台風後は、ハウス内の急激な温度上昇が予想されるため、速やかに換気を行う。

花き（キク）



台風被害様子



簡易防風対策

- ・降雨量の多い台風では風より冠水の被害が大きい可能性があるため排水路の確認を行う。
- ・マルチは土のうで押さえ、破損箇所は補修する。
- ・台風接近前には親株から採穂を行い、保管する。
- ・防風ネットにキクの先端が触れない高さで調整する。
- ・台風通過後は、葉についた塩分を水で洗い流す。

第43回沖縄県さとうきび競作会表彰式 農林水産大臣賞受賞！



*左から4人目が神谷氏

平成 30/31 年 期に収穫されたさとうきびを対象として行われたさとうきび競作会において、八重瀬町の神谷忠正氏が県 1 位の農林水産大臣賞を受賞しました。

今回の出品は農林 27 号の夏植、甘蔗糖重量 2,343 kg/10a、蔗茎重量 16,620 kg/10a でした。神谷氏は小さい頃から親の手伝いでさとうきび栽培に携わり、7 年ほど前から本格的にさとうきび栽培を始め、現在さとうきびの栽培面積は 53a で、単収向上に向けて、優良種苗の増殖、適期の肥培管理、積極的なかん水などに努めています。

南部地区の表彰結果は以下の通り

【農家の部】

農林水産大臣賞	神谷忠正	八重瀬町	甘蔗糖重量 2,343 kg/10a、蔗茎重量 16,620 kg/10a 甘蔗糖度 14.1 度 品種：農林 27 号 夏植
沖縄県糖業振興 会理事長賞	照屋雅通	糸満市	甘蔗糖重量 1,955 kg/10a、蔗茎重量 9,300 kg/10a 甘蔗糖度 13.0 度 品種：農林 27 号 春植

【多量生産の部〈生産法人の部〉】

沖縄県農林水産 部長賞（県 2 位）	農業生産法人 有限会社宇江城ファーム 代表取締役社長 城田勝弘	久米島町	生産量 852,000 kg 甘蔗糖度 11.6 度
-----------------------	------------------------------------	------	-------------------------------

【特別優良事例の部】

沖縄県糖業振興 会理事長賞	長嶺安浩	糸満市
------------------	------	-----

(地域特産振興班：佐藤恒啓)

南部地区農業青年クラブ連絡協議会

～定期総会の開催

令和元年度(2019年度)南部地区農業青年クラブ連絡協議会の定期総会が5月17日(金)に南部普及センターで開催され、クラブ会員と関係機関が集まる中、全ての議案が承認されました。

昨年度に引き続き会長となった友利克也氏(南城市農業青年クラブ)からは、「地区活動をとおりクラブ会員の親睦を図るとともに、お互いが抱える問題を解決する場として活動していきたい。また、地域農業の発展にも関わってきたい。」と挨拶があり、会員への活動参加を呼びかけました。



写真 1. 定期総会開催の様子



会長：友利克也氏
(南城市農業青年クラブ)



副会長：赤嶺道彦氏
(糸満市農業青年クラブ)



事務局長：兼本光太郎氏
(南風原町農業青年クラブ)



理事：大城義明氏
(八重瀬ファーマーズクラブ)

令和元年度おもな活動計画

年 月	内 容	場 所
令和元年 6月	土壌分析の実施	普及センター
	南部地区担い手交流会 (新規会員加入促進)	農業研究センター 普及センター
7月	土づくり講習会	
	県外視察 (九州大会も含む)	佐賀県
8月	仲間づくりスポーツ交流会	
11月	沖縄県青年農業者会議・リーダー研修会	南部管内
11月~12月	地域担い手ほ場視察研修会	南部管内
令和2年~3月	農産物販売活動	南部管内
5月	令和2年度定期総会・研修会	普及センター
隔月	地区連役員会	普及センター

♪クラブ会員募集中興味のある方、お気軽にお問い合わせください♪



離島情報 (南大東村)

～さとうきびの生産状況～

南大東村のさとうきび生産量は、毎年のように干ばつ期があるにもかかわらず、適期の肥培管理や病虫害防除に加え、台風の直撃が少なかったこともあって近年増加傾向となっています(表)。

引き続き、関係機関(役場、JA、製糖工場、県)が一体となって、干ばつ時のかん水推進(写真1)、講演会等での農家への情報提供(写真2)、害虫発生状況の確認と早期防除呼びかけ(写真3)、各種事業の導入(写真4)に取り組んでいきます。

また、今後はドローンや機械の自動操縦システムといった、最先端のスマート農業技術の導入に向けて実証事業に取り組む予定となっています。

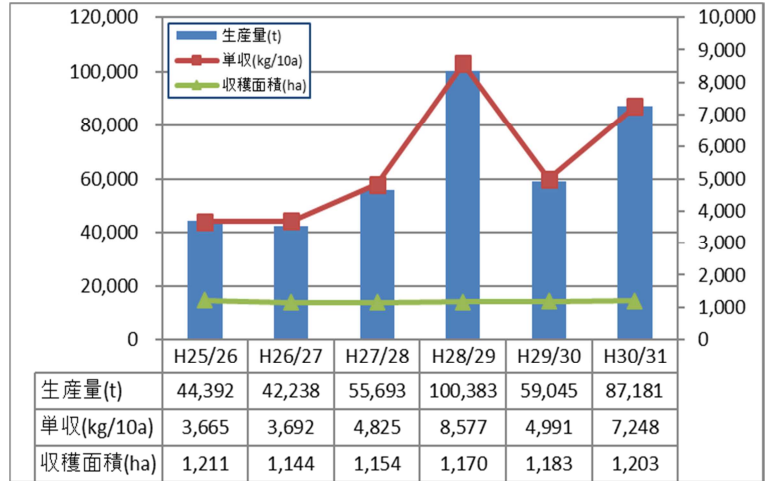


写真1 かん水チューブによる灌水



写真2 さとうきびの日講演



写真3 関係機関でイナゴの発生状況確認



写真4 補助事業を活用したハリガネムシフェロモンチューブの導入

(南大東村駐在：当真 央)

制度資金相談日 & 新規就農相談

- 相談対象の方：南部農業改良普及センター管内（14市町村）において就農を希望する方、もしくは農業を営んでいる方。
- 相談のある方は**事前にお電話にて相談日の予約と相談カード（相談票）の記入**をお願いします。
- 相談カード（相談票）は南部農業改良普及センターのホームページよりダウンロードしていただくか、もしくはFAX送付します。 <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/nokai-nan/index.html>
事前に相談カードの記入が出来ない方は相談当日にご記入をお願いします。

制度資金相談日について

毎月第2・第4火曜日を基本として相談日を設けました。今年度の開催予定日はホームページ又はお電話でご確認下さい。

- ・ 8月までの予定日（6/11・25、7/9・23、8/13・27）
- ・ 1件2時間以内となります。
- ・ 担当（長山）まで電話予約してください。
- ・ 事前に「資金計画相談票」に記入作成し、決算書や見積書等、参考資料も併せて当日ご持参ください。

（普及企画班：長山）

新規就農相談について

就農相談は、随時受け付けております。

- ・ お一人1時間程度となります。
- ・ 担当（神山・玉城）まで電話予約ください。



（普及企画班：神山）

定期人事異動

【 転入者 】 （ ）は前職場名

- 所長 長元 司 （営農支援課）
- 普及企画班
 - 下城 崇生（八重山農林水産振興センター）
 - 神山 桂子（宮古農林水産振興センター）
 - 安仁屋 政竜（農業研究センター）
 - 長山 麻江（中部農業改良普及センター）
- 地域特産振興班
 - 佐藤 恒啓（北部農林水産振興センター）
 - 普天間 斎（八重山農林水産振興センター）
- 園芸技術普及班 中村 翼（農業大学校）
- 久米島町駐在 栗國 佳史（園芸振興課）



4月に転入したメンバーです。よろしくお願ひします。

後列（栗國、安仁屋、普天間、長山、中村）
前列（下城、長元、神山、佐藤）

【 転出者 】 （ ）は異動先

- 宮里 太（中央卸売市場） 根路銘 利加（北部農林水産振興センター） 豊里 麻子（園芸振興課）
- 西田 公一（営農支援課） 儀間 靖（宮古支所農業研究センター） 下地 聡子（農業大学校）
- 新里亜希子（園芸振興課） 屋良 久美子（中部農業改良普及センター） 儀間 達海（退職）
- 三塩 志麻（営農支援課） 小橋川 隆一（農業大学校）